

地域デザイン科学研究科人間文化専攻【カリキュラムマップ】

人間文化専攻DP	科目区分								
	大学院 基盤科目	専攻 基盤科目	専門科目						
			イノベー ション・ コア	プロジェ クト研究	自専攻/ 他専攻 科目	特別演習	特別研究	分野 横断型P	専門 高度化P
DP1 【グローバルな視野とローカルな視点】	◎	◎	◎	◎	○			◎	-
DP2 【専門的知識・技能】					◎	◎	◎		-
DP2 【論理的思考力・分析力・表現力】	○	○	○	○	◎	◎	◎	○	-
DP3 【学際性、俯瞰性、課題発見力】	◎	◎	◎	◎	○			◎	-
DP4 【応用力、実践力、還元力】	○		◎	◎		○	○	◎	-
DP5 【プレゼンテーション力、コミュニケーション力】	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	-
DP6 【コーディネート力、マネジメント力、課題解決力】			◎	◎		○	○	○	-

※ 表中の◎は「強い関連性あり」、○は「関連性あり」を示す。

(参考) 地域デザイン科学研究科人間文化専攻(修士課程)【ディプロマ・ポリシー(DP)】

人間文化専攻(学位:修士(人間文化))では、人間とそれを取り巻く地域や文化に対する問題意識を持ち、高度な専門探究力、学際的総合力、応用・実践力によって地域社会の創造や変革に貢献できる「イノベーション人材」の養成を目指しており、次の6つの知識・能力等を身につけることを学修の達成目標としている。

1. 人間とその心理・社会・地域・文化に関する21世紀的課題を、グローバルな視野とローカルな視点から捉えることができる。【グローバルな視野とローカルな視点】
2. 人間とその心理・文化に関する高度な知識と技能を身につけ、蓄積されてきた知見やデータを理論批判的、論理的に思考・分析した上で、自身の考えを表現することができる。【専門的知識・技能】【論理的思考力・分析力・表現力】
3. 自身の専門分野に異分野の知識や考えを積極的に取り込み、俯瞰的視点から人間とその心理・文化に関わる課題を発見・把握することができる。【学際性、俯瞰性、課題発見力】
4. 人間とその心理・社会・地域・文化に関する諸課題に対して、獲得した専門的知識・技能を社会で応用・実践するとともに、そこで得られた知見を研究に還元することができる。【応用力、実践力、還元力】
5. 調査・研究した結果や自身の考えを分かりやすく説明し、相手からの質問や意見、要望を正しく汲み取ることができる。【プレゼンテーション力、コミュニケーション力】
6. 様々な地域・社会における多様な人々や組織を有機的に組合せ、協働して課題を解決することができる。【コーディネート力、マネジメント力、課題解決力】